2019年度(令和元年度)　草津市立新堂中学校通信　　Ｎｏ９（　１月１０日号）

しんどう中学校通信

～仲間とともに高めあい　豊かな学びと心を大切にする学校～

「特別の教科　道徳」について

１／７(火)の始業式で子どもたちには、“新年のスタート”にあたり自分自身で決めた目標の実現にむけて頑張るよう話をしました。加えて、道徳教育の研究実践の取り組みを進めていくことが新堂中学校２０２０年の学校目標であることも伝えました。

新堂中学校では、キーワードとしている「日々の学びや授業」「仲間や集団」。この２つのことをよりよく機能させていくためにも「特別の教科 道徳」の授業を大切にしていきたいと思っています。

ところで学校において“道徳”はずいぶん昔からあって、保護者の皆さんにとっても道徳の授業を担任の先生から受けてきた記憶があることと思います。（その時はまだ道徳は国語や数学と言った教科ではなかったのです。）その道徳が「教科化」されたのは最近のことで中学校では新学習指導要領が全面改訂された平成３１年度からスタートしました。（小学校は平成３０年度からのスタートでした。）本校の文部科学省道徳教育の研究指定校としての取り組みも、この道徳の教科化「特別の教科 道徳」のスタートと“時を同じくしての取り組み”であると言えそうです。

今回の道徳の「教科化」のねらいは、今の時代が教育に求めるものを反映したともいえるもので、未来を生き抜くために必要な資質・能力の育成や、グローバル化の中で国際感覚を身につけた日本人の育成を求めたものであると言われています。つまり、道徳の授業がただ「分かり切ったこと」を言わせたり、心情理解だけに偏ったりすることなく「考え、議論する道徳」へ質・量ともに変換を図ろうしているのだと思っています。

また、道徳教育は学校の全教育活動を通じて行われることが基本です。各教科の授業や特別活動・部活動等すべてにおいて道徳教育は行われています。（このことは、これまでの道徳と何ら変わることはありません）そして、この教育活動全体を通じて行なう道徳教育の要(かなめ)が今回「教科化」された「特別の教科 道徳」ということなのです。この要(かなめ)の授業を教育活動全体に機能させていくことが、今回の研究推進の取り組みの“値打ち”であると考えています。

１月１６日(木)には、本校で道徳教育研究発表大会が開催されます。次年度の本発表に向けての取り組みの「中間発表」としての位置づけですが、県内外から多数の先生方に来校していただく研究会となる予定です。新堂中学校の道徳教育への取り組みに対して、今後とも温かく見守っていただければと思っています。

校長　　伊庭　靖二

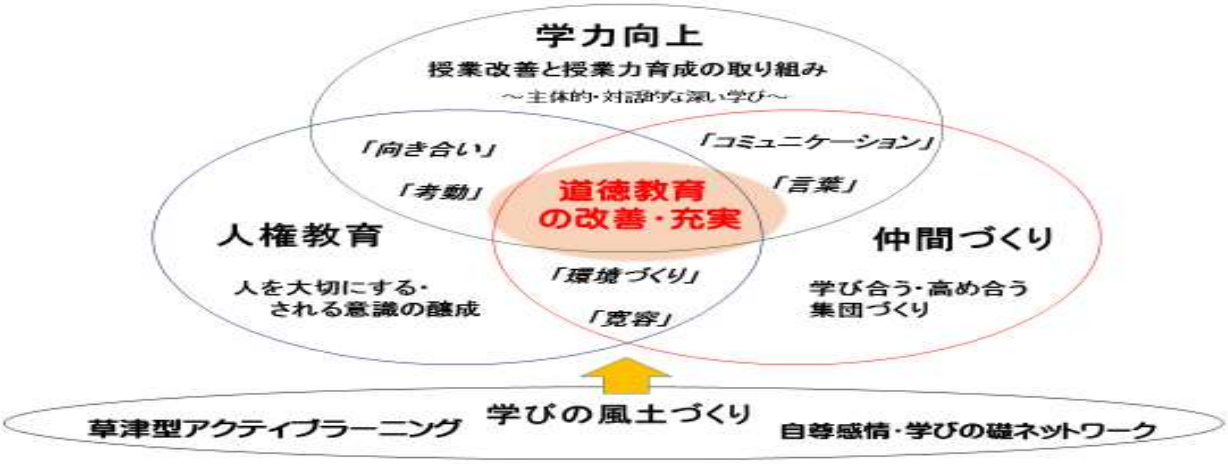
新堂中学校 2019・2020の取り組み

文部科学省の改善・充実に係る支援事業　～道徳教育の研究推進指定校の取り組みについて～

研究主題

『仲間とともに　考え・気づき・行動する力を育てる』

～生徒の心に響く道徳教育の創造～



草津市アートクラブフェスティバル…12月21日(土)・22日(日)

美術部が出品しているアートクラブフェスティバル(市内中学校美術部展)が例年通り草津市図書館で行われました。新堂中美術部は、団体賞であるフェスティバル賞を受賞してくれました。

校内掲示の様子から　　…1月7日(火)～

３学期のスタートにあわせて、校内掲示板を増やしました。校内の掲示物が「にぎやか」になっています。ご来校の際には、生徒たちの「学習活動」や「地域連携」の様子を見てもらえればと思っています。